



長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、
長崎の暮らしを支え、
社会の繁栄に貢献する。

経営理念

- 安全と安心** 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。
- 感謝のこころ** お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。
- 仕事への誇り** 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。
- 地域とともに** 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。

長崎バスグループ

長崎自動車株式会社	雲仙温泉青雲荘
長崎バス観光株式会社	長崎バスターミナルホテル
さいかい交通株式会社	みらい長崎ココウォーク
長崎バス商事株式会社	株式会社COCOアドバンス
長崎バス建物総合管理株式会社	五島自動車株式会社
長崎バス情報サービス株式会社	島原鉄道株式会社
長崎バスホテルズ株式会社	株式会社イズワークス
ホテル日航ハウステンボス	株式会社エスタス

長崎バスグループ CSRレポート2025

長崎バス安全教育センター
〒850-0077 長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

長崎バスグループCSRサイト
<https://csr.nagasaki-bus.co.jp>

2026年2月発行



長崎バスグループは
持続可能な社会の実現に向けて
SDGsに積極的に取り組んでいきます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年に国連で定められた全世界共通の目標です。17個の目標で構成されており、これらを達成することで2030年までに「誰一人取り残さない」より良い世界を目指します。
長崎バスグループは、これからもさまざまな事業を通じて、SDGsに掲げられている社会課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。



人と人 街と街を結ぶ

毎日の暮らしとともに
長崎バスグループ



CSR REPORT 2025 NAGASAKI BUS GROUP



Growing with the Community

社長あいさつ



原点に立ち返り 地域に貢献

本年、長崎自動車株式会社は創立90周年を迎えます。1936年4月28日に誕生した、「長崎茂木乗合自動車株式会社」を起源とする当社が、この輝かしい節目の年を迎えることができましたのは、お客様並びに株主様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援とご厚情の賜物に他なりません。心より深く感謝を申し上げます。

創業当初の当社は、社員20名、6人乗り営業車両6台のごく小規模な会社でした。戦中戦後を経たその後の道のりは決して平坦なものではありませんでしたが、先輩諸賢の努力の下、地域の発展とともに徐々に事業規模を拡大し、現在では乗合バス事業を中心に多種多様な事業を手掛ける企業集団（長崎バスグループ16社）へと成長することができました。当社はこれまでの歩みにおいて有形無形の財産を得ましたが、その中で最も大切なものは、お客様並びに地域の皆様からの信用と信頼と存じます。

90周年を迎えたいま、私たちは改めてその重みを認識し、皆様からの信用と信頼を決して裏切らないことを誓います。営業エリアの人口減少に加え働き手不足に伴う輸送力の減少など、当社の基盤である乗合バス事業には様々な課題がありますが、企業の社会的責任は何かということを常に確認し、当社の使命と経営理念に沿った取り組みを継続してまいります。とりわけ、経営理念の一つである「安全と安心」につきましては、当社グループ全ての事業において経営の根幹であり、たゆまぬ努力を積み重ねていく所存です。

90周年は単なる節目ではなく、これから先の未来へとつながる重要な通過点と位置付けています。次の目標である100年企業までの日々を、一步一步、着実に歩んでまいりますので、皆様方におかれましては、長崎バスグループに対し、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

令和8年1月 代表取締役社長 森田 誠

地域とともに
これからも



デジタルバス停を 追加設置

令和6年4月から、バスの接近情報が確認できるバスロケーションシステムを導入し、デジタルバス停やスマートフォンでご利用いただけるようになりました。このバスロケーションシステムは、乗車したいバスの現在地や遅延予測、車内の混雑状況、車いす対応の可否が確認でき、より便利に安心してバスをご利用いただくことができます。また、お客様から好評をいただいているデジタルバス停は、令和7年に55インチを3カ所、32インチを30カ所の追加設置を行い、現在69カ所のバス停でご利用いただけます。

訪日観光客の おもてなしを拡充

日本を訪れる外国人旅行者数が過去最高を記録する中、長崎の街中でも日常的に訪日客を見かけるようになりました。二次交通を担う長崎バスグループでは、訪日外国人観光客に対するサービス向上を目的とした、様々な取り組みを行っています。

もっと便利で、もっと身近な長崎バスの実現へ

主要観光地バス停における 案内を充実

観光地とバス路線を組み合わせた多言語案内掲示板をリニューアル



多言語音声ガイダンスの設置

バス運転士の接客対応力の向上

訪日客のお尋ねに対して、必要最低限のやりとりが可能になる「指差しシート」を全車両に搭載



定期観光バス 多言語通訳システムを導入

バスガイドの案内をリアルタイムで母国語に翻訳し、車窓の風景を楽しみながら案内を聞くことが可能





NAGASAKI BUS GROUP

Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



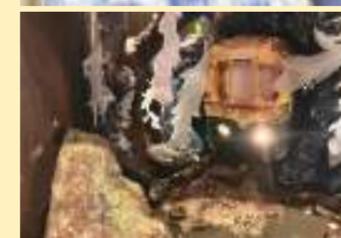
長崎バスグループ大集合! 長崎バスグループ祭2025開催

令和7年11月29日、30日の2日間にわたって、みらい長崎ココウォークで開催した長崎バスグループ祭2025。両日も小春日和に恵まれ、多くのお客様にご来場いただきました。当日は、長崎バスグループ各社に分かれてイベントを行う中、1階ココウォーク入口にラッピングバスが登場。制服と制帽を着用したお子様たちが運転士を体験しました。2階では、赤ちゃんハイハイレースやオランダ伝統のゲーム「シューレン」大会、長崎バス・島原鉄道を模した段ボール工作などが行われました。また5階のバス中古部品販売には、早朝から大勢のお客様がお見えになり、整理券が配布されるなど大盛況でした。お子様連れのご家族、そして長崎バスグループスタッフの笑顔あふれる2日間となりました。



長崎日本大学高等学校 デザイン美術科の 卒業制作展を開催

地域や学校とのつながりを深める取り組みとして、長崎日本大学高等学校デザイン科の皆さんにご協力いただき、ココウォークのシンボルである観覧車を活用した観覧車装飾と卒業作品制作展を開催いたしました。「地域とともに、未来を担う若い世代と何かを創り上げたい」という思いのもと、生徒の皆さんの自由な発想と感性が観覧車を彩り、館内にも個性豊かな作品が並びました。



県内高校生による 合同販売イベントを 初開催

商業について学ぶ県内7校の高校生による合同販売イベントを、みらい長崎ココウォークで初開催いたしました。出店した生徒の皆さんは、日頃の学習で培ったマーケティングの知識を活かし、地元の特産品を使った商品や、個性豊かなオリジナル商品を販売。「幻の高来そば」「出島クーヘン」「海老ふりかけ」「まつボーロ」など、会場には長崎県内各地の魅力あふれる商品が並び、多くのお客様で賑わいました。



NAGASAKI BUS GROUP Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



長崎バス ポケモン化石博物館へGO!

令和7年6月の長崎県と(株)ポケモンの地域活性化に向けた包括的連携協定締結を機に、県内各地でポケモンに関連する様々なイベントが開催されています。加えて、しっぽの光が遠くまで届くことから、長崎の未来を照らす存在として「ながさき未来応援ポケモン」に「デンリュウ」が就任。県内全域を舞台にしたデジタルスタンプラリーやポケモンマンホール、Pokémon GO ワイルドエリア長崎が開催され、国内外の多くのファンが長崎を訪れるなど、大きな賑わいを創出しています。

長崎自動車(株)は、長崎県の協力依頼を受け、長崎市恐竜博物館で開催された「ポケモン化石博物館」の期間中、ココウォーク茂里町～恐竜博物館までの臨時バスを運行いたしました。



期間中はご家族・お友達など、多くのお客様にご利用いただきました!



遊んで!学んで!「えぬたん号バスツアー」を開催

令和7年6月21日、(株)エヌタスと長崎自動車(株)による合同企画「えぬたん号バスツアー第6巻」を実施しました。お馴染みのコースのひとつでもあるモーターサービス部では、お仕事体験コーナーが充実。構内に配置されたツアー特製のバス停をえぬたんと一緒に巡り、様々な作業を実際に体験しました。普段触れることができない機器を前に、大人も子供も大興奮の中、運転士顔負けのお子様もいたりなど、大変盛り上がりました。その他、出島ではオランダ伝統のゲーム「シューレン」で体を動かすなど、歴史を肌で感じる有意義な時間となりました。



「長崎検番in出島」を開催

「出島」とゆかりの深い「長崎検番」が唄や三味線、踊りを披露し、参加者にも太鼓や鉦、踊りを体験いただく催しとして、国内外の観光客の皆様には喜ばれている「長崎検番 in 出島」。コロナ禍の折にも、お座敷の仕事が激減し長崎検番の存続が危ぶまれる中、数少ない公演の場として開催してきました。

今後も「出島」に訪れるお客様の思い出作りとともに、貴重な長崎の伝統文化である「長崎検番」の維持、存続、発展、継承に貢献してまいります。



職場体験 未来を担う子供たちの育成

長崎バスホテルズ(株)では、国指定史跡「出島」にて長崎市内の中高生を対象とした職場体験を実施。過去最多となる5校を受け入れました。「自らお客様にお声がけする」ことを目標に体験していただいたのは、表門入退場口における団体対応やお客様への市内観光案内、写真撮影の他、窓口業務の補助など。参加した生徒の皆さんからは、「仕事のやりがいを感じた」「海外のお客様とも会話できるのが楽しい」「自分から声をかけるのはとても緊張したけど、自信がついて嬉しかった」といった感想をいただきました。



オラニエ・フェスティバル2025開催

令和7年4月26日、27日の両日、かつてオランダ商館があった「出島」にて、現オランダ国王の誕生日を祝う『オラニエ・フェスティバル』を開催いたしました。芝生広場には、クラフト雑貨や飲食のマルシェが登場し、オランダの伝統ゲーム「シューレン」大会も開催されました。また、毎回大人気の物見やぐらも2日間限定で開放。着物ファッションショーや日本髪のお披露目、三味線演奏などが花を添え、大盛況の2日間となりました。



クランクに入りますので、
ハンドルをゆっくり
右に切ってください。



未来のバス運転士を担う!? 「こどもJOBチャレンジ」に参加

長崎自動車(株)は、令和7年5月4日に開催されたえがおみらいプロジェクト主催のお仕事体験イベント「こどもJOBチャレンジ」に参加しました。当イベントは、子供たちが様々な職業を実際に体験し、仕事の魅力や社会の仕組みを学ぶことを目的としており、長崎県内の企業・団体も多数参加しました。

当社は「バス運転士の仕事」にフォーカスした職業体験を実施。制服や制帽を着用して運転席に座るなど、日常では味わえないリアルな体験の機会を提供しました。



スクールバス運転士 花束贈呈式に出席

令和7年3月1日、長崎県内の公立高校で卒業式が行われました。その前日の2月28日、県立北高等学校と県立北陽台高等学校の皆様から、スクールバスを運行している長崎バスの運転士に花束を贈呈していただきました。卒業生代表者より、「運転士の皆さんのおかげで、3年間安全にそして安心して登校することができました」とお礼の言葉をいただき、運転士からも激励のメッセージとともに、謝意を述べました。



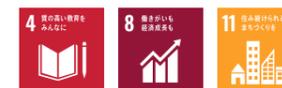
絶賛好評中! バス運転体験会を開催

長崎自動車(株)では、バス運転士の仕事に興味をお持ちの方を対象に、大型バスを運転できる体験会を毎月開催しています。当社の教習専用コースにおいて、インストラクターの丁寧なサポートを受けながら体験できるため、普通免許の方でも安心してご参加いただけます。このような機会を通じて、バスを身近に感じ、運転士の仕事が職業選択のひとつになることを期待しています。

NAGASAKI BUS GROUP Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



V・ファーレン長崎 J1昇格おめでとう!

8シーズンぶりのJ1復帰を目指して、「獲るぞTEPPEN魅せる長崎の力」のスローガンを掲げ、2025シーズンを戦ったV・ファーレン長崎。長崎パスターミナルホテルでは、クラブ・街・パートナー企業が丸一となって選手を後押しする『ALL NAGASAKI』プロジェクトに賛同し、ラスト3ゲームの開催日に、従業員全員が応援Tシャツを着用。シーズン終盤を盛り上げました。



ホテル日航ハウステンボス 夏休み JALこども航空教室2025を開催



地域の小学生たちの自由研究に役立ててもらおうと、長崎空港のJALスタッフと連携し「夏休みJALこども航空教室2025」を開催しました。本イベントは今年で21回目を迎え、今回は約130人の親子が参加しました。飛行機が時速約850キロで飛行していることや整備士は飛行機のお医者さんであることなど、クイズを通して飛行機に関する豆知識を伝え、最後は子供たちが作った紙飛行機で飛距離を競い合いました。自由研究の題材としてはもちろんのこと、楽しい夏休みの思い出作りにも貢献するイベントになりました。

長崎バス観光開発振興基金

昭和61年に設立した長崎バス観光開発振興基金は、観光を通じて社会、経済、文化、科学技術の振興など、広く時代の要請にこたえる事業への助成を行い、豊かな郷土づくりと人づくりに寄与することを目的としています。被爆80年の節目となった令和7年には、長崎の中高生が主体となって企画・運営する平和文化イベント「Live for Peace2025」が、8月11日にベネックス長崎ブリックホールで開催され、当基金も助成しました。

今後も観光、文化、スポーツ、国際交流、教育學術等の振興および自然環境保護を図るため、必要な助成を通じて長崎の未来を創造し、その繁栄に貢献してまいります。



守るべきもの 変えるべきもの 未来のために走り続ける

新たな飛躍の時代に向かう長崎。

私たちは、いつの時代も地域を見つめ
ともに理想の未来を追いかけてきました。

これからも前へ、前へ、変化を恐れず進化する。

待ち受ける向かい風を追い風に変えて、光り輝く明日を創造する。

それが私たちの使命です。

名もなき一日を走る。
長崎バス 

Safety and Security

NAGASAKI BUS GROUP

安全・安心



ドライブレコーダーを更新 乗り心地の良い運転を追求へ



長崎自動車(株)では、令和7年9月より2年の期間をかけ、車両約500台をデジタルタコグラフ一体型のドライブレコーダーへ更新いたします。

主な特長 ① ジャイロセンサー機能(車両の動揺を計る)を用いて、運転士の日々の運転操作に対する評価を行い、運転技術の改善につなげることができる。② 異常が発生した際は通信を利用してリアルタイムに映像を確認し速やかな対応ができる。③ 映像やデータを分析し安全指導教育にも活用できる。

その他機能を活用し、安全で乗り心地の良いバスを提供できるよう努めてまいります。

長崎バス運転士の安全教育が進化へ「モビボケ」を導入

クロスマイル
Xmile株式会社の「モビボケ」は、国土交通省の指針に基づいた教材を提供し、受講履歴や進捗状況をクラウドで一元管理できる運転士安全教育サービスです。運転士は、自身の都合のよい時間に合わせ、タブレットを活用して動画を視聴しながら受講できるため、効率のかつ確実に一人ひとりの安全意識を高めることが可能となりました。これからもお客様に安全と安心をお届けできるよう努めてまいります。



重大事故を想定した訓練を実施

令和7年11月19日、長崎自動車(株)は、危機管理体制の対応能力の向上を目的とした異常事態対応訓練(重大事故訓練)を行いました。今回は長崎空港行きの路線バスが、高速道路上で衝突事故を惹起し、多数の負傷者が出たことを想定。初期対応から対策本部を設置するまでの訓練を実施しました。今回の訓練では、計画性・実行力・情報共有の面で成果が見られた一方、さらなる柔軟性と即応力の強化が求められることが明らかとなりました。

今後も有事の際に冷静かつ迅速に対応できるよう、定期的に訓練を実施し、関係部署との連携・強化を図ってまいります。



お客様にご協力をお願い 車内事故撲滅へ 啓発ポスターを制作

毎年7月に、日本バス協会主催の全国一斉「車内事故防止キャンペーン」が実施されています。長崎自動車(株)では、バス乗車時の安全についてお客様にご協力を仰ぐため、オリジナルの啓発ポスターを制作しました。また従業員については、着席確認と書かれた専用ワッペンを制作して着用、一丸となって車内事故撲滅に取り組みました。



島原鉄道×県央消防本部×島原消防本部 踏切事故を想定した合同訓練

令和7年12月8日、島原鉄道(株)において、県央消防本部、島原消防本部と合同で踏切障害事故を想定した訓練を実施しました。訓練には、関係者70名と消防車両9台が参加。相互の連絡体制強化と現場での対応力向上を目的に、緊迫した空気の中、運転士からの速報、運行指令所からの関係各所への緊急通報、負傷者の救護および乗客の避難誘導、そして相手方車両からの出火に対する消火活動を行い、相互の連携を確認しました。島原鉄道(株)では踏切事故は甚大な被害をもたらす可能性があることから、常に非常事態に備え、今後も消防機関との連携を図ってまいります。



Eco logy

環境活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境にやさしい車両への更新

令和7年、長崎自動車(株)は大型バス15台および小型バス2台を、長崎バス観光(株)は大型バス2台を購入し、車両を更新しました。これら新しい車両は国の厳しい排気ガス規制に適合しており、環境負荷の低減につながっています。具体的には、尿素水を噴射して窒素酸化物(NOx)を減らす尿素SCRシステムや、排気ガス中の粒子状物質(PM)をフィルターで捕集・焼却するシステムを搭

載することで、ディーゼル車から排出される有害物質を低減しています。また、低燃費を実現する最新のエンジンを組み合わせることで、高い環境性能と経済性を両立しています。

今後も長崎バスグループは、地球にやさしい乗り物であるバスを持続可能な地域の公共交通として多くの皆様にご利用いただくため、環境に資する取り組みを積極的に推進してまいります。



ホテル日航 ハウステンボスの取り組み

令和7年1月より、当ホテルより排出される廃食用油を再生可能な航空燃料として利活用するプロジェクト「Fry to Fly Project」に協力しています。脱炭素社会の実現に向けた同プロジェクトへの協力を通して、当ホテルで使用した廃食用油を航空燃料「SAF」製造の原料として供給。持続可能な社会実現に貢献してまいります。

令和7年1月、SDGsの取り組みを実践する宿泊施設を認定する「Sakura Quality An ESG Practice (通称:サクラクオリティグリーン)」の「4御衣黄ザクラ」を取得いたしました。



よみがえる 懐かしき遊具たち 長崎バスモーターサービス部の技術

時代を越えて親しまれてきた浜屋百貨店の屋上プレイランド。令和6年、その営業に幕がおろされた後、みらい長崎ココウォークが遊具を譲り受けました。老朽化した遊具たちは、モーターサービス部の高い技術力によって見事によみがえり、再び子供たちに楽しんでもらえるようになりました。



実際にならぶ遊具たちは、モーターサービス部の手によって塗装まで行われています。

ハイブリッド タクシー車両 2台導入

五島自動車(株)では、タクシーの更新に伴い、トヨタのシエンタ2台を導入しました。シエンタは、ハイブリッドシステムの採用による燃費向上とCO₂排出量削減を実現、先進の排ガス浄化技術やリサイクルしやすい素材の採用など、地球温暖化対策と都市環境のクリーン化に貢献している車両です。今後も豊かな五島の自然を守り、未来へと引き継ぐ取り組みに貢献してまいります。



雲仙 国の天然記念物 ミヤマキリシマを守る取り組みに参加

青雲荘では、令和7年10月26日、地域に根差した環境活動の一環として、ミヤマキリシマの下刈り作業に参加しました。この作業は、国の天然記念物であるミヤマキリシマを守るためにツタや雑草を取り除く重要な取り組みです。雲仙を訪れる皆様が変わらず素晴らしいミヤマキリシマの群生を楽しんでいただけるよう、毎年参加しております。今後も地域と環境を守る活動に積極的に取り組んでまいります。



長崎をきれいなまちへ 清掃活動を実施

長崎自動車(株)では、各営業所単位で運転者自ら発案し、日々運行している路線の清掃活動を行っています。バス停や路線のごみ拾い、生い茂った草木の刈り取りなど、お客様が安全かつ快適にバスをご利用いただけるよう、日々環境を整えています。



トピックス Topics 2025

長崎バスターミナルホテル 開業50周年

令和7年2月27日、長崎バスターミナルホテルは、お蔭様で開業50周年という節目の日を迎えることができました。これもひとえに、多くのお客様のご支援とご愛顧をいただいた賜物と心より御礼申し上げます。当ホテルが開業して50年、現在の長崎の街は、念願の西九州新幹線が開通し、更には長崎スタジアムシティをはじめとした大型の施設が開業するなど、魅力ある街に変貌しました。これからも国内外のお客様から愛され続ける長崎とともに、長崎バスターミナルホテルも歩んでまいります。



イズワークス 楽67号

日本地域コンテンツ大賞2025

最高賞「内閣府地方創生担当大臣賞」を受賞

このたび、(株)イズワークスが発行する季刊「楽」が、「日本地域コンテンツ大賞2025」において、最高賞である「内閣府地方創生担当大臣賞」を受賞いたしました。全国577媒体の中から選ばれた大変名誉ある受賞であり、創刊以来続けてきた長崎の魅力発信の取り組みを評価いただいたものと受け止めております。

受賞対象となった令和7年3月発行の67号「長崎の海と漁師たち」では、多様な海で暮らす漁業者の方々取材し、その営みに息づく誇りや願いを丁寧に描きました。また、弊社が制作を担当した長崎県発行の書籍「ONE ANSWER ようこそ、長崎のミュージアムへ」も、「隈研吾特別賞最優秀賞」を受賞し、二部門での受賞となりました。

今後も、長崎の魅力を広く伝えていけるよう努めてまいります。



五島自動車

ふるさと企業大賞(総務大臣賞)を受賞

令和7年、「ふるさと融資」を活用して、地域振興に繋がる事業活動に取り組んだ事業者へ贈られる「ふるさと企業大賞」に五島自動車(株)が選ばれました。総務大臣賞にあたる同賞を受賞したのは全11社。五島自動車(株)は、令和元年にふるさと融資を活用して「GOTO TSUBAKI HOTEL」を整備し、既存のカンパナホテルと合わせて観光客の受け入れ態勢の強化を図りました。この度の受賞は、このような地域の観光基盤づくりに寄与した点が評価されました。さらに地元の五島日本語学校を卒業した留学生を採用して、人口減少による労働者不足の課題にも対応し、地域経済の循環と多様な人材の定着に貢献した点も受賞に繋がりました。

当社では受賞を励みに、交通・宿泊・食という三位一体のサービスを通して、五島の魅力をさらに高めてまいりたいと考えています。



イズワークス

長崎くんち写真展2025を開催

江戸時代から続く秋の大祭「長崎くんち」。伝統あるくんちの文化と魅力を発信し、多くの皆様に応援していただけるよう、楽ギャラリーにて「長崎くんち写真展」を開催いたしました。3回目となる本展では、山頭範之氏をはじめとしたカメラマンの撮り下ろしによる臨場感あふれる写真を中心に、過去に撮りためた写真も含めて多数展示。会期中は、多くのお客様に足を運んでいただきました。



COCOアドバンス

「吉野家 長崎中央橋店」オープン

令和7年5月10日、長崎市内で3店舗目の出店となった同店は、吉野家の新たな運営形態である「クッキング&コンフォート」スタイルを長崎県内で初めて採用。「作りたての商品を、快適な食事空間で楽しんでいただく」ことをコンセプトに、サービスを提供しています。吉野家ならではのオリジナリティあふれる商品と、「クッキング&コンフォート」スタイルによる快適な食事空間を、ぜひお楽しみください。

長崎バス商事 健康経営優良法人 2025に認定

長崎バス商事(株)は昨年に引き続き、「健康経営優良法人2025」に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実施している企業や法人を日本健康会議が認定する制度です。今後も長崎バス商事(株)は従業員の健康のため、健康経営に取り組んでまいります。



青雲荘 5階和室を ベッドへリニューアル

お客様へ「快適なご滞在」の提供を目指して5階フロアの和室をリニューアルし、これを機に全客室がベッドの部屋になりました。今回の大きなりニューアルポイントは、従来の「くつろぎ」と「快適性」はもちろんのこと、お客様の様々なニーズにご対応出来るよう、家具を一新した点です。

これからも、より一層のおもてなしをご提供いたします。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



青雲荘 恐竜ランド開催 思いっきり恐竜たちと遊ぼう!!

令和7年7月19日から9月7日まで、「青雲荘恐竜ランド」を開催いたしました。期間中は、巨大な恐竜たちが出現するフィギュアの展示や化石発掘体験、段ボール遊具で遊べる恐竜プレイランドなどが登場。盛りだくさんのイベントを展開する中、「恐竜だー!」と歓声をあげるお子様と一緒に写真を撮って楽しんでくださるご家族、じっくりと恐竜たちの迫力に浸る方々など、多くの皆様の笑顔にあふれていました。

